

専攻の紹介

本専攻は、研究者や教育者の育成のみならず、経営や会計に関する高度の専門知識を有する「ビジネス・マネジャー」や「会計スペシャリスト」の養成を目指しています。特に、自らのキャリアを発展させようとしている人の研究課題を広くサポートします。

本専攻に修学する大学院生には、年齢、出身大学、社会経験において多様性がみられます。また税理士の国家資格取得をめざす社会人学生も在籍し、卒業後は現在勤務している事務所や企業に戻ったり、税理士の資格取得後に独立したりして、広く社会で活躍しています。

教員からのメッセージ



経営学研究科長 **おりはし しんや** 折橋 伸哉 教授

大学院では、それぞれが抱いた疑問や問題を、専門的な知識に基づいて、深く探求し解決できるようにすることを目指します。そのためには、学部での概論的な学習を越えた高度な専門知識を身につけることが必要です。高度な専門知識を得るには、その学問領域の専門書や既存の研究論文などの講読、分析を通して、応用可能なレベルにまで知識を引き上げることが必要となります。それにもとづいて、自らの疑問や問題を解明すべく研究する一仮説を構築し検証することが求められます。つまり、それを研究することの意義は何か（意義）、それを解決するためには何が必要なのか（要件）、問題を解決することによって何が得られるのか（効果）を演習や論文の作成を通して明らかにしていきます。

このような深い思考は、研究者を目指す人だけではなく、経営のプロフェッショナルや会計スペシャリストを目指す人たちにとっても非常に重要なことです。教科書通りにはいかない現実社会の様々な問題に対処する思考能力と問題解決能力を大学院で身につけませんか？

修了生からのコメント



会計スペシャリストとして活躍するOB **ささき よう** 佐々木 陽 さん

私は、現在、税理士法人に勤務しております。大学院では、職業会計人になることを目標に、税法を専攻していました。大学院生の時には、昼は税理士法人で仕事をし、夜間と週末を利用して大学院に通いました。

大学院は、自らが持った疑問について、自ら調べ、考え、結論を導き出すところです。より具体的には、教員の指導下で、2年間の研究計画を立て、計画に沿って文献や資料を収集し、その成果を「修士論文」としてまとめ上げます。自ら主体的に論文を書き上げることによって、専門知識を深めるとともに、日々の業務において直面する問題や課題に対し、自ら考え、そして解決する能力を養うことができました。

東北学院大学経営学専攻は、特に税法や会計学分野の先生方が多数いらっしゃいましたので、様々な観点から修士論文に対するアドバイスをいただきましたし、また実務上の問題などについても色々とお相談させていただきました。

経営学専攻での2年間の学びから得た知識と経験は、私にとって貴重な財産であり、また自らの可能性を広げ、今後の人生をより豊かにしてくれるものであると考えています。

（私立大学商学部卒業。東北学院大学経営学専攻で修士号取得。現在、税理士法人に勤務）

研究領域／研究分野

- 経営学特講、経営史特講、経営管理論特講、経営統計論特講、情報処理論特講、経営組織論特講、国際経営論特講、人的資源管理論特講、商業史特講、流通論特講、経営戦略論特講、ファイナンス特講、など
- 財務会計論特講、国際会計論特講、管理会計論特講、原価計算論特講、税務会計論特講、租税法特講、監査論特講など

時間割の例

会計スペシャリストを目指すAさんの場合

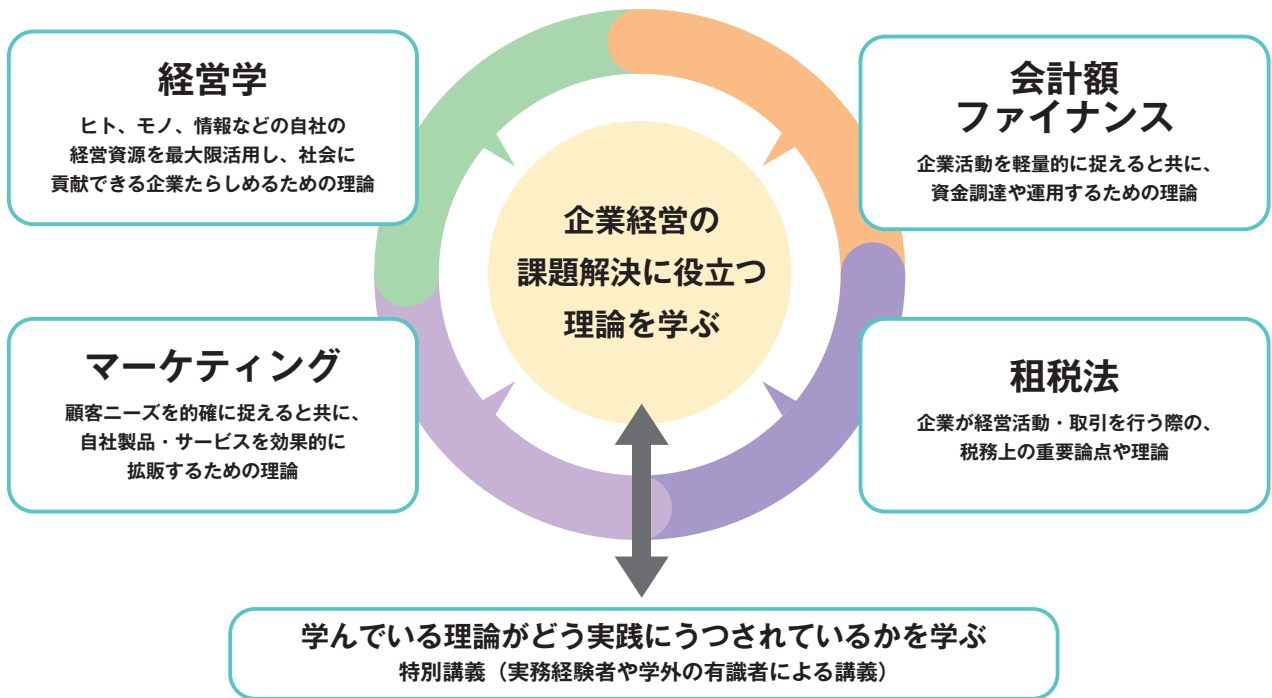
	1限目 (8:45~)	2限目 (10:45~)	3限目 (13:15~)	4限目 (15:00~)	5限目 (16:45~)	6限目 (18:25~)	7限目 (20:05~)
月							
火						国際会計論 特講	
水							
木							経営学特講
金						外国経営書 研究(仏語)	
土		税務会計論 特講	租税法演習	租税法特講	研究科論文 指導		☆特別講義

📌 **ここに注目!** 夜間と土曜日の講義を集中的(逆L字型)に履修することで、仕事との両立も不可能ではありません。

詳しい情報はコチラ!



■ 経営学研究科経営学専攻のカリキュラム



■ 経営学研究科経営学専攻のコース制導入

- | | |
|--|--|
| 経営者・実務家スキルアップコース | 税務・会計プロフェッションコース |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 経営学、マーケティングを中心に学修。 ● 豊かなマネジメント能力を持つビジネス・マネジャーの育成を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 税務、会計学、ファイナンスなどを中心に学修。 ● 会計や税法に関する高度な専門知識を修得した会計スペシャリストの育成を目指す。 |

担当教員・研究テーマ

- | | | |
|---|--|--|
| <p>■ 介護サービス組織の経営管理 岡田 耕一郎
小集団型の介護サービス組織とサービスシステムの管理、日本とスウェーデンの介護サービス組織の比較</p> <p>■ 財務会計論 小野 慎一郎
会計情報の有用性に関する実証研究</p> <p>■ 経営管理論 折橋 伸哉
日本の国際競争力の最大の源泉であるとしても過言でないものづくりマネジメントについて考察し、その国際的な適用可能性についても追究する</p> <p>■ 管理会計論 窪田 高哉
管理会計と情報技術</p> <p>■ 租税法論 小池 和彰
給与所得者の必要経費及び租税支出の研究</p> <p>■ 日本の江戸時代～明治時代の商業流通史 齋藤 善之
海運・流通・市場・商人ならびに商家経営の歴史研究</p> | <p>■ 監査論 佐久間 義浩
財務諸表監査の経済的機能</p> <p>■ 管理会計論、原価計算論 佐々木 郁子
BtoB、BtoC、震災</p> <p>■ 日本経営史、雇用関係史・労働史 菅山 真次
日本的雇用関係の形成と展開、ホワイトカラー層の歴史分析、就職の歴史</p> <p>■ 経営分析論 棚橋 則子
証券投資における財務情報の有用性に関する実証研究</p> <p>■ イノベーション論 藤 祐司
企業のイノベーション戦略、イノベーション政策の国際比較</p> <p>■ 数値計算、アルゴリズム開発、プログラミング、シミュレーション 根市 一志
データ解析のためのプログラム、アルゴリズムの開発
モンテカルロシミュレーションのためのプログラム開発</p> | <p>■ 租税法、税務会計 堀 治彦
国際課税における規範研究、経済社会の変容と租税実体法の研究</p> <p>■ 実証ファイナンス 松村 尚彦
行動ファイナンスの視点から、株価形成について実証的に分析をする</p> <p>■ 国際経営論 村山 貴俊
1. 清涼飲料会社の国際戦略に関する実証研究
2. 多国籍企業と対外直接投資に関する理論研究</p> <p>■ CSR (企業の社会的責任) とコーポレート・ガバナンス(CG) 矢口 義教
イギリスを中心とするEU各国のCSRとCGの比較研究、東日本大震災時と復興過程におけるCSRの役割</p> |
|---|--|--|